フリーペーパーぺっこ

PECCO

VOL.77 2026.11



岩手県立図書館

図書館探検記 その41
そめちゃんがゆく！

助手のセキネさん

りんごの棚

「読書バリアフリー」という言葉を知っていますか？障がいの有無に関わらず、だれもが自分に合った方法で読書を楽しめるようにする考え方で、2019年には「読書バリアフリー法」も制定されました。岩手県立図書館でも、読みやすく工夫された本を集めたコーナーとして、「りんごの棚」「やさしい本棚」をオープン。そこで今回は、そめちゃんが新しい本棚の特徴を紹介！あなたに合った読書のかたちが見つかるかもしれません！

発祥はスウェーデン　どうしてりんご？

スウェーデンの図書館員がロンドンの障がい児図書館を訪れた際、言語障がい児を支援する「おもちゃのりんご」に感銘を受けたことが「りんごの棚」の名前の由来です。1993年の誕生以来、誰もが読書を楽しめるコーナーとしてスウェーデン全土に広まりました。

Sweden

岩手県立図書館 バリアフリーの本棚

すべての人に読書の喜びを届ける目的で、読みやすい形式の本や資料をあつめたコーナーを2026年にオープン。児童向けに「りんごの棚」、より広い年齢の方向けに「やさしい本棚」を設置しました。



りんごの棚
3階児童コーナー



やさしい本棚
3階一般フロア

ほかにもあるよ！便利な道具のご紹介

拡大読書器（かくだいどくしょき）

本そのものを、モニターに大きく表示して読める機器。



字を大きくできるから読みやすい！

リーディングトラッカー

「いま、どこを読んでいるか」がひと目でわかる、読書を支える魔法のしおり。読み書きに苦手さがある方の「読みやすさ」も優しくサポートします。



読みやすい！

布絵本（ぬのえほん）

布やフェルト、ボタン、マジックテープなどを使って作られた絵本。見て、さわって楽しむことができます。指先で形を確かめたり、マジックテープでつけたり外したりして遊べる、楽しいしかけ絵本です。

図書館の中であそべるよ！

大活字本（だいかつじぼん）

大きな文字の本です。小さい文字が読みづらい方でも、読書を楽しむことができます。大人向けの小説だけでなく、青い鳥文庫や角川つばさ文庫などの児童向けシリーズもあります。

LLブック（エルエル）

カンタンなことばと写真、絵をつかって、だれでもわかりやすく読めるように工夫された本。

LLとは??
スウェーデン語で「やさしく読める」を意味する
LÄTTLÄST（レットラスト）
という言葉の略です

誰もが読書を楽しめるように分かりやすく作られた本なんだね。

読書の方法ってひとつじゃないんだね

点字付き絵本（てんじつきえほん）

指でさわって読める点字や、手でさわって楽しめる絵がついた本。

オーディオブック 朗読CD

耳で聞いて楽しむ本。ハリー・ポッターから羅生門まで。

やさしい本棚にあるよ。

バリアフリーDVD

目の見えない方・見えにくい方、耳が聞こえない方・聞こえにくい方でも一緒に楽しめるよう、バリアフリー日本語字幕（音情報を文字であらわした字幕）や音声解説付きのDVD。

おすすめ新着郷土資料　【2026年7月-9月新着分】



三十路の逆立ち

くどう れいん 著／講談社

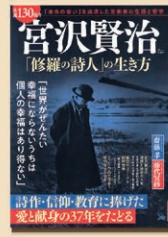
急にドラム式洗濯機が買いたくなったり、リビングに閉じ込められたり、「うちに倒立しに来ない？」と誘われたり。派手な暮らしではないけれど、そこにおもしろさや心の揺れを感じられるエッセイです。盛岡市出身の著者らしい、北上川やさんさ踊りのエピソードも登場します。



復興の書店　増補

稲泉 連 著 ／岩波書店

東日本大震災直後の被災地に本は必要なのだろうか。そんな思いを抱えた書店員たちは、その地に生き、本を必要とする人々に励まされていきます。自身も被災している状況下で、懸命に本を届けようとする書店員たちの奔走と苦悩が、丁寧に書かれた一冊です。増補版である本書では、能登半島地震のエピソードが追加されています。



宮沢賢治
「修羅の詩人」の生き方

宝島社　出版

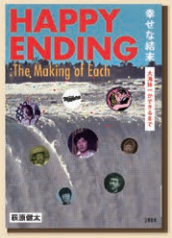
今年は宮沢賢治の生誕130周年。数々の童話や詩を残した賢治は、いつも世界全体の幸福を願っていました。この本では、厳しくもおおらかな岩手県の風土が、彼にどんな影響を与え、作品に昇華されていったのかが解説されています。動物も植物も人間も、同じように生き生きと登場する賢治の世界に触れたくなる一冊です。



あひるのペックルの『武士道』
自分を律するための心構え

朝日文庫編集部 編／朝日新聞出版

武士の精神を世界に伝えた新渡戸稲造。時代を超えて読み継がれているのは、『武士道』の中に変わらない真理があるからです。かわいいペックルと現代のわかりやすい言葉で書かれているページを開くと、不思議と元気をもらえます。心を整えたくなった時、勇気をもらいたい時、ページをめくってみてください。



幸せな結末
大滝詠一ができるまで

萩原 健太 著／文藝春秋

2013 年に急逝した大滝詠一。生前に親交の深かった著者は、彼の仕事場で三日三晩泊まり込みのロングインタビューを行っていました。「死後公開」の約束で録音された、大量のカセットテープの封印は解かれ、軽妙洒脱な語りとその素顔が鮮やかに蘇ります。第２章では、幼少期を過ごした岩手と音楽の記憶が語られています。



宮沢賢治 詩の世界
心象スケッチを旅する

平凡社　出版

今年は宮沢賢治生誕 130 年の年。彼は自らの詩を「心象スケッチ」と名付け、心で捉えたものを書きとめていました。唯一の詩集『春と修羅』を中心に、難解と思われがちな詩作品35篇を紹介。イーハトーヴォ（理想郷＝岩手）の空や雲、雪景色などの幻想的なビジュアルとともに、賢治の世界観が旅するようになぞられた１冊です。